

富里市ゼロカーボンシティ宣言

～「未来に向かってみんなでつなぐ

安心して暮らせる脱炭素のまち 富里」～

近年、世界各地で地球温暖化の影響とみられる気候変動や深刻な自然災害が毎年のように発生し、我が国においても、猛暑や集中豪雨、台風の大型化による災害の激甚化など、生活や経済活動にも大きな影響をもたらしています。

こうした状況を踏まえ、2015年に合意されたパリ協定では、「異常気象など気候変動による悪影響を最小限に抑えるために、世界全体の平均気温の上昇を産業革命以前から2℃より十分下方に抑えるとともに、1.5℃に抑えるよう努力する」などが決定されました。

我が国においても、2020年10月に内閣総理大臣の所信表明で、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが表明されました。

富里市においては、緑豊かな森林や谷津、農地、自然環境などの地域資源を最大限に活用し、森林再生プランによる森林整備をはじめ、市民活動団体等によるグリーンインフラ整備などの取組により、二酸化炭素排出量の削減効果が確認されております。

今後も、これまでの取組を着実に進めるとともに、市民、事業者、市民活動団体との連携により、「未来に向かってみんなでつなぐ安心して暮らせる脱炭素のまち 富里」を目指し、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」に向け取り組んでいくことを、ここに宣言します。

令和7年2月19日

富里市長

五ヶ内博文